

## 2006年度 第4回 運営委員会議事録

日時：2006年11月4日(土) 9:30～14:30

場所：バーズ教育センター 第1会議室(105教室)

出席者：松林運営委員長、三宅副運営委員長、大平副総務担当運営委員、樋口会計担当運営委員、小久保校長、本岡運営委員、佐崎運営委員、ホーン運営委員、藤原領事、満留商工会教育部長、糟谷会計監査委員、村野事務長

1. 開会の言葉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・大平副総務担当運営委員
2. 運営委員長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・松林運営委員長
3. 報告・確認事項・協議事項

A) 学校の状況報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・小久保校長  
在籍者数と担任変更の報告

9月から11月にかけて殆ど増減なし。

中学部1年2組アーリーワイン先生退職、11日から荒川玉野先生が担任として着任。

主任会について

行事：オープンハウスの反省を行った。

校則：中高等部のサンダル履き等が多いが、改めて校則についての主任会、職員会で検討した後、運営委員会で承認を得、学校全体で啓発をはかりたい。

エモリー大学ボランティア活動：9月から活動を開始。時間帯を多少変更し保護者の相談し易い時間帯に近づけた。家庭教師等保護者からの相談に応じている。授業での学習支援を1学級で実施。今後も保護者に活用してもらいたい。

教育講演会の進捗状況：2007年3月3日福島孝徳先生の講演を実施予定。対象は小学5年から高等部まで。予算措置を検討していきたい

第25回在外教育施設派遣教員研究協議会報告：

10月16, 17日シカゴで開催され、各地域の補習校校長が集まり会議をおこなった。事前に質問を提示しておいたが各補習校それぞれの学校の成り立ち、児童生徒の在籍状況(永住組・駐在組)により、授業の中身が違ってきている。

借用校契約状況 - 私立校を借用している学校では長期契約が出来ている学校もあるが強制的な寄付等を募られている。公立校を借用している学校は殆どが単年度契約となっている。

危機管理について - 全員が携帯用無線電話器を持っている学校、ポリスが常駐していない学校も多く、学校によって様々な対応をしている。

B) 学級委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・本岡学級委員長

オープンハウスについて会議を開催せず、保護者の意見をメールで内容の収集を行った。

オープンハウスは素晴らしい企画で大成功であったが、出席者がESOLの先生等に限らず、現地校の生徒が日本の学校の授業、文化を体験できる機会にしてはどうか。保護者が案内するのが理想だが負担なので、招待状を渡さなかったとの声も聞かれた。柔軟に運営できる体制を作っておくのはいかがか。

今年のオープンハウスは非常によかったが、事前準備が大変そうだった。

<低学年の校歌を歌った件>

- ・ 服装を揃える必要があったのか。服装への指示が厳しかった。
- ・ 全員が舞台の上で歌うような工夫が必要では。場所がないのであれば、幼稚部と1年生だけの参加でもいいのでは。
- ・ 微笑ましくとても良かった。
- ・ 校歌発表はとても良い企画だった。

<授業参観>

- ・ 現地校の先生方に日本語学校を理解していただける良い機会だった。
- ・ 人数を把握するためにRSVPが必要なのは解るが、当日参加もOKにしたらもっと現地校の先生が参加できたのではないか。
- ・ 保護者も子ども達の様子を見ることが出来よかった、反面、現地校の先生が参加していない保護者には、関心が薄かったのではないか。
- ・ 全校生徒が同じ時間帯での授業参観は、兄弟のいる保護者には大変。
- ・ 教室内で先生に座っていただける椅子があると良いと思った。

<ランチ>

- ・ 列が長かった。もう少し、流れがスムーズに、食事も取りやすければと思った。
- ・ 箸袋にお人形がついていたのが大変喜ばれた。
- ・ ランチで日本語学校の先生や父兄と一緒に食事をするのは何の問題もないと思う。ボランティアが作った食事を学校の先生達に弁当として作り、残りを現地校の先生の食事に行っていると伺ったが、本当ならば本末転倒で改善されたほうが良い。
- ・ 委員さんの気配りが感じられ、あちこちに飾られた花一輪が清楚で美しく素晴らしかった。

<展示>

- ・ 展示の記述の内容チェックが必要。
- ・ 現地校の先生の似顔絵が好評だった。現地校についての絵や絵日記の掲示も良いと思う。全体的に内容、準備も素晴らしかった。
- ・ 日本文化展コーナーの時間がなくなってしまい、充分紹介できなかつたのが残念。
- ・ **日頃接する事のない日本の文化について知る良い機会なので、児童を引率し、展示を見せて欲しかった。**
- ・ 100マス計算の紹介が素晴らしかった。
- ・ 日本紹介、展示物など現地校の先生はとても興味深くご覧になっていた。
- ・ 茶道のお手伝いをしたが、お手伝いの人にまで昼食を出す必要はないのではないか。返って申し訳なく、気を使ってしまった。
- ・ 閉会の挨拶の三々七拍子が現地校の先生も興味を示したし、最後のけじめとなった。去年はいつ終わればいいのか分からなかった。

<受付>

- ・ 正面玄関での対応、雰囲気がとても良かった。

<シアターのプレゼンテーション>

- ・ 子ども達の校歌を見るだけの保護者が席を陣取っていたため、先生方を良い席に案内することが出来なかった。終わったら席を立ってしまい大変恥ずかしかった。来年も校歌を歌うのであれば、先生方の席に考慮して欲しい。
- ・ 現地校の先生に現地校と日本語学校を両立させている子ども達の日常生活を知って頂ける、とても良い内容だった。
- ・ 発表、パネルディスカッションともに、素晴らしかった。
- ・ 日本の学校の紹介も面白く、日本語学校の状況も分かりやすく説明されていた。

C)図書委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・佐崎図書委員長

11月18日に開催するブックフェアについて役割分担を決定。全保護者にブックフェアのご案内の通知をする。

D)ジャパンフェストバザー結果報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・満留商工会教育部長

<収益金> \$ 4,696を学校に寄付することができる結果となった。入場者数の減、雨による30分ほどの中断もあったが、トラブルもなく、盛況と言われた前年度と比べて遜色なく、期待以上の結果であった。

<販売・ボランティア> 商工会会員企業(北東支部)からのボランティア協力の申し出があり、生徒、保護者、教師、運営委員と多数の協力が大変有り難かった。ボランティアを前日準備、販売シフト1・2・3、当日事前準備、当日事後片付けと配置。100名以上のボランティアの協力を得た。後日、生徒からアンケートも受け取ったので、来年度の参考にしたい。多数の生徒の参加と終日、生徒の指導をしていただいた先生には感謝。

<入園券・入場券> 児童生徒用の入場券はジャパンフェスト・インクからの寄付。ボランティア用に配付の入園券58枚を購入、収益金より支払う。

<バザー品> 品物の募集は夏休み前から商工会“サウス・ウインド”、学校“はなみずき”で数週間品物の募集を行った。

<値付> スケジュール通り滞りなく行われた。(書籍、CD、ビデオなどは事前に事務局で仕分けが出来ていたため、当日の値付は行わなかった。)

今後への改善点

当日の実行委員の負担が大きいためバックアップ要員を増員した方がいい。  
バザー品については、かさがあるものを避け、募集時に大きさの目安を示す。  
売れ行きの良い品物(漫画、CD等)や高価な商品等については、事前に仕分けをし、箱もわかりやすくしておく。  
資材不足がないようにしておく。  
余剰在庫(書籍)への対策を考えておく。  
来年度はグエネットセンターでの開催が決定している。(9月29日、30日)

E)オープンハウス結果報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ホーン行事担当運営委員

<来賓出席者> 90名の出席者で前年比の116%。

<経費> \$ 1238.36で\$ 38.36の予算オーバーとなったものの。受付で使用した生花を借用校へのお礼としたり、ビデオの作成をやめ、DVDに落とすことにより全体的にコストを削減。プレゼンテーションへの参加のゲストスピーカーの方へ、学校のTシャツを謝礼とした。

<出席者からの意見等> 回答者67名(参加者の74%)

参加者の内訳 - HR教師(25名)ESOL教師(23名)校長(1)

日本人の生徒を受け持っている - (53名)

オープンハウスへの参加 - 初回(50名)、2回以上(17名・11回目の参加1名)

招待状の配付方法 - 児童生徒からの手渡し(43名)口頭・メール(13名)  
郵便(11名)

全体の評価 - 招待状、招待の方法、地図、受付、当日配付資料、授業参観、ゲストのスピーチ、シアター、ランチ、展示、駐車場については大変良い。

ドアプライスは参加要素になったか - 参加理由ではない(全員)

参加理由 - 生徒へのサポート(36名)授業参観(7)展示(1)

オープンハウスは有意義な行事であったか - 有意義であった(全員)

## オープンハウスを継続すべきか - 継続すべき (全員)

来賓からは全体的に大変高い評価を頂いた。反省会の日程を11月11日に予定しているので、具体的な改善提案を作成し、来年度に生かしてもらう。

### F) 副総務活動報告 . . . . . 大平副総務担当運営委員

- ・ 当番作成マニュアルを完成させることが出来た。仕事をスムーズに移行出来る一助としてこれから活用。
- ・ クラブ活動規約の改定を行い、運営委員会での承認を得た。
- ・ Educators to Japan Program の要項原案を作成。
- ・ 今後の活動予定として、2月の運営委員会でクラブ報告の収集と内容確認、次年度の活動の承認を得、次年度当番作成委員への引継ぎを行いたい。

## 4. 協議事項

### A) 危機管理について . . . . . 糟谷担当委員 経緯と今後の改善について

1. 8月から危機管理の見直しを始めたが、第一歩として、他の補習校の実態を調査した。(調査依頼29校、7校から回答)2004年度から作成されている本校の危機管理と比較をしたが、現状は他校と比べ、劣っているとは思えない。
2. 主任会を通し、本校教職員からみた改善点を収集。
3. 他の補習校のアイデア、借用しているコブ地区の条例に見合う危機管理を加味し、本校とのマニュアルの整合性を視野に入れながら、より良い体制作りをしていく。
4. 保護者と第1回の意見交換会を10月28日開催。保護者側から見た改善点を拾い出すとともに、保護者、パトロール、ポリスへの危機意識を啓蒙する。
5. マニュアルの英文化とポリスとの連携。特に授業中の管理体制、校舎内への入校、退校、クラブ時の危機管理につき改善を前提とし協議を行う。
  - ・ 危機管理タスクチームの結成：担当 大平、樋口、ホーン、糟谷運営委員
  - ・ 危機管理年間計画の立案と実施の見直しを毎年行う。
  - ・ 危機管理訓練を実施する前に保護者との意見交換会を行い、運営委員会での承認を受け実施を行う。
  - ・ 新規に危機管理担当運営委員を設置、他の運営委員を募集する時期と一緒に募集を行う。他の役職との兼任も出来る。

### B) 2007年 Educators to Japan Program

#### 派遣者選考方法について . . . . . 大平副総務担当運営委員

意義と目的：JETROが主催する教育者対象日本短期研修プログラムである。借用校及び管理組織であるジョージア州教育委員会との長期的かつ戦略的な協力関係を構築・維持することを目的として実施。費用は予算化が必要なために運営委員会にて確認する。

選出方法：意義、目的に記載とおり、借用校及びジョージア州教育委員会関係者又は運営委員会にて適切と認められた者から選出する。候補者の推薦は、運営委員関係者が行うことが出来る。推薦者は候補者のポジション、経歴、学校との関係、推薦理由を書面にて提出。運営委員会で総合的に判断し、派遣教育者を決定する。原則として該当年度の学校行事であるオープンハウスで、日本で行われた研修内容を報告してもらう。

担当運営委員：総務担当運営委員とする。活動報告を父母総会で報告。来年度派遣推薦者については、総務担当の代行の大平副総務担当に年内に連絡すること。最終決定は第5回運営委員会にて行う。

C)平成19年度について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・小久保校長

- ・ 新年度教育活動計画（案）について  
年間43回の授業日を確保するため、4月7日始業式、3月22日終業式で案を計画。他の行事は殆ど本年度を踏襲。クラブまつり日程を9月に移動、危機管理訓練日、他の補習校との研修会等の日程を新たに計画案に組み入れる。
- ・ 2007年度運営委員の募集について  
新年度運営委員の募集を行うため、要項と推薦書を保護者に配付し協力を得る新たに危機管理担当運営委員を設置、危機管理体制の推進及び立案と実施をしていただく。
- ・ 担任等意向調書について  
11月1日に現担任等に意向調査書を配付、新年度の意向希望を12月9日提出いただく。提出書類を基に新年度担任配置を検討し、運営委員会に具申したい。（現在の勤務年数の平均は10年）

## 5. 確認事項

- ・ 保護者・商工会関係者体育館使用について  
クラスの活動、児童生徒の休み時間等の妨げにならない時間帯で期間使用（11月から3月まで予定）
- ・ 本校以外の外郭団体のグラウンド使用について  
サッカーグラウンドのごみがひどく、実情を教場借用事務所に報告した。借用事務所の方から外郭団体代表者に連絡をし、今後の使用につき対処していただくことになった。
- ・ 植月歯科医からのボランティア申し出について  
学校の卒業生でもある植月先生から、何か学校のお役に立ちたいとの申し出があった。商工会担当満留教育部長が窓口になり、実現に向け話を進めていただく。

以上